



笠間稻荷神社

く
る
み

胡桃

笠間稻荷神社◎社報

THINK & TALK
伝統を継承するために
私たちにできること



～あいや～

今年は、明治維新百五十年の記念すべき年にあたります。日本が封建社会から近代国家へと移行し、現代の繁栄へとつながる契機となつた、歴史的意義の深い変革期の時から節目の年を迎える、明治の精神を継承し、現代に活かしていきたいものです。

江戸幕府に代わって成立した新政府は、初代天皇である神武天皇の創業に帰ることを掲げ、新しい国づくりの方針は明治天皇が神々に誓うという形で示されました。神武天皇は建国の際に、国民のすべてを家族と考え、民と共に平和な国づくりを目指された天皇です。有名な話として仁徳天皇が民家からご飯を炊くかまどから煙が上がらないのを見て民の困窮を察し、三年間すべての課税を免除されたことが伝えられています。民と共に生き、その幸せを祈る伝統は「民のかまど」と言い表され、災難が起ころるたびに国民に寄り添われておられる今上天皇のお姿にもよく表されています。

事有るにつけて いよいよ思ふかな
民のかまどの煙 いかにと

明治天皇の詠まれた歌ですが、歴代の天皇は国民のことを「おおみたから」と呼び、慈しんでござりました。

西洋の王侯貴族とは異なり、人民を支配し、搾取するという関係ではなく、國の宝である民を大切に思い、共に歩もうとされて、「國中平らかに安らげく」と祈り続けられておられます。

日本という国はいにしえより天皇を中心にして国民が一つにまとまる國柄であり、維新政府は國家の発展と国民の安寧を祈る祭祀と政治を合わせた祭政一致の体制に帰つて、日本の近代化を図る様々な改革を進めていきました。

明治の新しい動きの中で、当社では笠間藩主の強い要請を受けて、私の祖先にあたる塙瑞枝が鹿島神宮より笠間に迎えられ、宮司に就任し、人々の心のよりどころとなる神社の発展に務め、二代目の豊樹は明治天皇の笠間行幸に際し、御用掛を命じられて拝謁を賜りました。三代目の嘉一郎は政府の殖産興業の下、当時の日本の輸出品の主力であつた生糸の増産と発展を目的として献繭祭を献穀祭と共に斎行し、日清・日露の両戦争で傷ついた人々の心を癒やそうとして菊花の展示を始めました。四代目の父、瑞比古は幼少期を明治の新しい息吹の中で過ごし、その後の神社界の発展に全くすようになりました。

明治政府は、日本古来の精神を大切にしながら西洋の優れた知識や技術、制度を取り入れて、世界に開かれた近代的な国家を樹立し、今日の発展へと至っています。明治維新百五十年に思うことは、先人たちの志を受け継ぎながら、笠間稻荷神社の歴代宮司の神道人としての在り方に倣い、氏子崇敬者のために祈り、神社の発展に尽くしていきたいということです。

社会がどんなに変化していくても、日本人が大切にしてきた惟神の生き方を忘れずにいたいと思つています。

笠間稻荷神社 宮司 塙東男

かんながら

5月上旬
見頃

樹齡四百年

笠間稻荷の藤

大
藤

八
重
藤

県指定天然記念物



伝統を継承するためには 私たちにできること

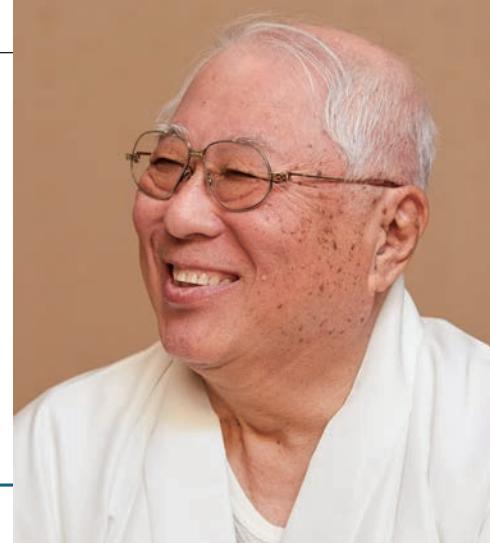
平成三十年一月三日、笠間稲荷神社にて節分追儺式が行われました。式は昼の部と夜の部があり、夜の部には、大相撲の田子ノ浦 伸一師匠（田子ノ浦部屋）、茨城県出身の力士・高安関（田子ノ浦部屋）が参加。境内には、平成一十九年に大関昇進を果たした高安関をひと目見ようと大勢の参拝客が集まりました。

午後七時三十分過ぎ。神職が古式に則り桃の弓・葦の矢・桃の杖で追儺式を行った後、高安関が特設撒豆台へ。撒豆行事司（年男・年女）とともに「福は内」のかけ声をかけながら、金銀福豆（御守護）や福銭を勢いよくまくと、参拝客は福にあやかろうと手を伸ばし、境内は熱気に包まれました。



第32回 神事と大相撲について

力士(大関)／高安 晃氏
笠間稲荷神社 宮司／塙 東男



笠間稲荷神社 宮司

塙 東男

子ども時代は野球一筋 担任に勧められ力士に

塙 本日は追儺式にご参加いただきありがとうございます。高安関は茨城県のご出身ですが、故郷に帰省されるのはどんなお気持ちですか？

高安 こうやつて地元に呼んでいただけるのは本当にありがとうございました。地元の皆さん期待を感じたびに、頑張ろうという気持ちになりますから。

塙 同じ田子ノ浦部屋で、横綱の稀勢の里関も茨城県のご出身です。お二人で地元話をされたりはしますか？

高安 横綱と地元話をすることはありませんが、ほかの力士に茨城の話をすることはあります。たとえば、私の出身地の土浦市は蓮根が名産なんだよ、とか。あと、土浦では語尾に「だべよう」とつけることが多いので、「○○だべよう」と方言を使ってみせたり。

塙 海外出身の力士の方は特に喜んでくれそうですね。

高安 ええ。 塙 ところで、高安関は野球少年

だつたと聞いています。それがどうして相撲の世界に？

高安 中学三年の冬休み前に、当時の担任の先生から「お相撲もいいよね」と勧められまして。それで父親と相談して、まずは稽古を見学してみようという話になりました。そこで、当時の鳴戸部屋を訪ねたんです。

塙 激しい稽古を見て怖じ気づいたりはしませんでしたか？

高安 それが、稽古を見学できなかつたんですよ。到着したときには稽古が終わっていて、代わりに、ごちそうを振る舞つていただけました。あとは体格を褒められたり、「相撲をやつたらどう？」と誘つていただいたり。最終的に、おいしいご飯と親方の優しい印象につられて

塙 もし、そのとき稽古を見ていたら……？

高安 あまりの厳しさにびっくりして入門しなかつたかもしれません（笑）。



高安 晃氏 Akira Takayasu

力士(大関)

平成2年2月28日茨城県土浦市生まれ。本名：高安晃。身長187cm、体重182kg。子どものころから野球少年で、小学校、中学校と野球に熱中したが、担任と父兄の勧めもあって相撲の道へ。中学卒業後、鳴戸俊英親方(元横綱隆の里)の鳴戸部屋(千葉県松戸市)に入門。同じく茨城県出身の横綱・稀勢の里関は兄弟子にあたる。同郷とはいえ、稀勢の里関は高安関より三つ年上なこともあります。相撲の世界に入るまで互いに面識はなかったという。「ただ、私が入門するころには稀勢の里関はすでに幕内力士とした活躍されていましたので、私が一方的に知っていたという形ですね」と高安関。初土俵は平成17年の3月場所。平成29年7月場所で大関に昇進。殊勲賞3回、敢闘賞4回、技能賞2回。

大相撲は神事 礼に始まり礼に終わる

高安関は普段、神社仏閣にお参りはされますか？

高安 奉納土俵入りなどで伺うことはありますが、プライベートではなかなか機会がありません。笠間稲荷神社に伺うのも今回が初めてです。

塙 当社は日本三大稲荷の一つとして知られていて、創建は今から一三六〇余年前の六五一
年です。

高安 非常に歴史のある神社なのですね。

塙 はい。ご祭神の宇迦之御魂神は、穀物や命を育てる神さまで、また、商売繁盛の御神徳もあります。こうしたことから、非常にたくさんの人々に慕われているんです。まるで高安関のようですね（笑）。

高安 ありがとうございます（笑）。

塙 神道と大相撲には、実は、大変深い関わりがあります。たとえば、相撲の歴史は非常に古く、神話の時代にまで遡ることができます。鹿島神宮の御祭神として知られる武甕槌神と、諏訪大社の御

祭神として有名な建御名方神^{タケミナカタノカミ}が、国譲りの際に力競べをされた。これが相撲の起源といわれているんです。高安関はご存じでしたか？

高安 そうですね。新弟子検査に合格した力士は半年間、国技館の中にある相撲教習所で実技と学科を学びます。その際、相撲史の授業もありますし、そこで教わりました。

塙 そうですか。相撲はまた、豊作を祈る神事でもあります。土俵もとても神聖な場所ですよね。現在も、本場所であれば、取り組み前には必ず土俵入りが行われますが、土俵入りも神事としての意味合いが強い。高安関はどんなお気持ちで土俵入りされていますか。

高安 やはり、相撲は神事ですか

ら、神聖な気持ちで、一つ一つの所作をしつかりやるよう心がけています。そして、「厄災が降りかからないように」「精一杯お相撲を取れますように」と考えながら行っていますね。

塙 高安関は、取り組み前、塩をまいた後に肘をぐつと後ろに引きますよね。

高安 よく見ていらっしゃいますね（笑）。あれで自分自身のスイッチを入れて、闘争心を高めています。

塙 験担ぎはどうですか？

高安 昔は、ひげを剃らないとか、場所中は毎回同じ道順で会場

めています。相撲は神事ですか
ら、礼に始まり礼に終わらなくて
はいけません。また、取り組み相
手にも、家族や応援してくださる
方がいます。だから、感情を露わ
にしてはいけない。先代の鳴戸親
方からも、今の田子ノ浦親方から
も、さらには先輩方からもそのよ
うに厳しく言われてきました。

塙 立派な教えですね。高安関もおっしゃっているように相撲は神事ですけれども、高安関ご自身は神頼みなどはされるほうですか？

高安 以前は、「勝てますように」と祈ることもありましたが、最近は、神さまに頼るのではなく、「相手に正面からぶつかつていける勇気がほしい」という気持ちで、自分で自分を奮い立たせてやっています。



拝殿にて節分追雛式参列中の田子ノ浦親方、高安関（写真左）

直会にて挨拶を述べる高安関（写真右）



高安 大関に昇進するまで、自分は苦しい時期を長く経験してきました。また、私が関取に上がったころに相撲界で不祥事があり、国技館に足を運んでくださる方が激減するという事態も体験しました。こうした経験を通じて痛感したのは、相撲道というのは、応援してくださる方、支えてくださる方あつてのものだということです。ですから、ファンの方と接する際には、相撲を身近に感じてもらえるようにと考えながらまうとややこしいので（笑）、今はやつていません。ただ、田子ノ浦部屋では、鳴戸部屋時代から続く伝統があります。場所の初日の昼食には必ずトンカツとあさり汁が出て、みんなで食べるんです。

塙 その心は？
高安 「あつさり勝つ」です。
塙 なるほど（笑）。

伝統を守るために心がけていること

塙 高安関はファンへの対応がよいと評判です。ファンの方への対応について、日頃から配慮されていることはありますか？

高安 相撲も古くから伝わる伝統文化です。ですから、親方や先輩方から学んだことを、曲げず、ゆがめず、後輩に伝えていくことも頭を悩ませています。

高安 高安関はファンへの対応がよいと評判です。ファンの方への対応について、日頃から配慮されていることはありますか？

高安 大関に昇進するまで、自分は苦しい時期を長く経験してきました。また、私が関取に上がったころに相撲界で不祥事があり、国技館に足を運んでくださる方が激減するという事態も体験しました。こうした経験を通じて痛感したのは、相撲道というのは、応援してくださる方、支えてくださる方あつてのものだということです。ですから、ファンの方と接する際には、相撲を身近に感じてもらえるようにと考えながらまうとややこしいので（笑）、今はやつていません。ただ、田子ノ浦部屋では、鳴戸部屋時代から続く伝統があります。場所の初日の昼食には必ずトンカツとあさり汁が出て、みんなで食べるんです。

塙 その心は？
高安 「あつさり勝つ」です。
塙 なるほど（笑）。

高安 大関に昇進となるようなきっかけがあつたんでしようか？
高安 今思うと、稀勢の里関の優勝パレードで旗手を務めたのが、いいきっかけになりました。車の上から見る景色が本当にすばらしくて。声援もたくさんいただいて、まるで自分が優勝したような気分になりました（笑）。同時に、一生懸命やつていたらこんなにいい出来事が待つていてるのだとわかり、勇気が湧いてきました。それが大関昇進につながったよう

も、力士としての役目だと考えて

塙 先ほどのお話にもありましたが、昨年、高安関は大関に昇進されました。あらためて、おめでとうございます。

高安 ありがとうございます。これまでずっと、調子がいいときと、スランプのときと、エレベーターみたいに上がつたり下がつたりの状態が続いていましたが、おかげさまで、大関に昇進できました。

塙 大関昇進となるようなきっかけがあつたんでしようか？

高安 今思うと、稀勢の里関の優勝パレードで旗手を務めたのが、いいきっかけになりました。車の上から見る景色が本当にすばらしくて。声援もたくさんいただいて、まるで自分が優勝したような

気分になりました（笑）。同時に、一生懸命やつていたらこんなにいい出来事が待つていてるのだとわかり、勇気が湧いてきました。それが大関昇進につながったよう

うに思います。

塙 持てる力を十二分に發揮して、次の横綱になつていただけば、茨城県民としてこれほど嬉しいことはありません。応援しています！ 本日はありがとうございます！

高安 平成二十九年は自分で、ケガもあり、体調管理の面では勉強することも多くありました。平成三十年は昨年の経験を踏まえて、また一つ上の位を見

て、一生懸命取り組んでいきたいです。そして何より、今の私があるのは、応援してくださる皆さんのおかげです。皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、初心を忘れず、全力で相撲道をまつとうしたい



▲左より、高安関、塙宮司

笠間稻荷神社日誌

平成三十年

赤字：祭典
青字：結婚式
黒字：講中参拝
緑字：行事
緑字：正式参拝

◆一月

一日	歳旦祭
二日	高梨講・赤坂講・八千代講
三日	茨城日産自動車㈱
四日	元始祭
五日	小松稻荷講
六日	株サンライフコーポレーション
七日	新規社員登用式
八日	JR水戸鉄道サービス㈱
九日	ヤマト運輸㈱茨城主管支店
十日	海上芋苗組合・明誠講
十一日	根崎解体工事㈱・野尻笠間講
十二日	昭和天皇祭遙拝式
十三日	株横山喜惣治商店
十四日	下野小山須賀笠間稻荷講
十五日	東芝ライテック㈱鹿沼工場
十六日	初事比羅祭
十七日	ALSOOK茨城㈱
十八日	野田市信栄講
十九日	尖閣諸島安全祈願祭
二十日	穗波会・石井工業信友会
二十一日	(有)アイカムエクスプレス
二十二日	古札炎上祭
二十三日	(有)秋田土木
二十四日	井沼方講
二十五日	東宝上町講
二十六日	柏崎講・東京平和講
二十七日	那須塩原市商工会高林支部
二十八日	御本殿豊奉納奉告祭
二十九日	山高野講

◆二月

一日	両社宮神社 宮司上原信彦様
二日	初天神祭
三日	笠間稻荷門前講
四日	防災訓練
五日	麻生笠間講・正徳講・㈱ナテック
六日	笠間稻荷神社敬神婦人会 会長檜山公江様
七日	キヤラエーピー㈱・下三ヶ尾笠間講・弥栄講
八日	登度神社 宮司星次百太郎様
九日	原町講 代表本木信夫様
十日	神宮大麻曆颁布終了奉告祭
十一日	幸手講
十二日	野内組稻荷講・堀の内組
十三日	雪村金山寺屏風県文化財指定奉告祭
十四日	野内組稻荷講・堀の内組
十五日	船形笠間稻荷講
十六日	柘木笠間会・中峰笠間講・下落合笠間稻荷講
十七日	明治神宮崇敬会加須支部 支部長加藤忠迪様
十八日	豊田稻荷講
十九日	野田七親講
二十日	大相模笠間講・川口商業講・柏市元町稻荷講
二十一日	野田七親講
二十二日	太木講
二十三日	船形觀光友の会・大山笠間講
二十四日	初午大祭・北方領土返還祈願祭
二十五日	並木町笠間講・網戸中宿稻荷講
二十六日	旭市奉賛会・下古山講・川上実行組合
二十七日	サカイ会祈願会・取手市機械工業会
二十八日	針供養祭
二十九日	國學院大學国際交流バスハイク 星野光樹様
三十日	房地組合

◆三月

一日	紀元祭
二日	野田市蕃昌笠間稻荷講・鶴ヶ丸講
三日	国際ロータリー第三分区
四日	旧大祓式
五日	ガバナーバラク・オバマ大統領
六日	祈年祭・初穂講大祭
七日	船形笠間稻荷講
八日	柘木笠間会・中峰笠間講・下落合笠間稻荷講
九日	明治神宮崇敬会加須支部 支部長加藤忠迪様
十日	豊田稻荷講
十一日	野田七親講
十二日	大相模笠間講・川口商業講・柏市元町稻荷講
十三日	野田七親講
十四日	太木講
十五日	船形觀光友の会・大山笠間講
十六日	初午大祭・北方領土返還祈願祭
十七日	並木町笠間講・網戸中宿稻荷講
十八日	旭市奉賛会・下古山講・川上実行組合
十九日	サカイ会祈願会・取手市機械工業会
二十日	針供養祭
二十一日	國學院大學国際交流バスハイク 星野光樹様
二十二日	房地組合

夏越の大祓のご案内

私たちには日々を営む中で、知らず知らずのうちに過ちを犯したり、けがれに触れたりすることがあります。これらの過ちやけがれを、半年に一度祓う儀式を「大祓」といいます。大祓式は、半年間の過ちやけがれを、人形（ひとがた）に移して祓い清め、身も心も清らかで正しい姿に立ち返る為の神事です。

また、自動車文明の発達した今日、車は私たちに多くの便利・快適さをもたらしておりますが、反面、残念ながら

ら交通事故はなくならない現状であります。愛車もご自分の体の一部として、人形同様に車形のお祓いもお勧めいたします。

なお、六月三十日午後四時三十分より、当社において大祓式を斎行いたします。境内には茅の輪も設けてございますので、ご家族皆様でご参列・ご参拝下さい。

《お祓料》◎お一人に付き 千円以上
◎お車一台に付き 千円以上



車形
記入例



人形記入例



人形・車形に息を
ふきかける。

車形に氏名・年齢・
車両番号を書き、そ
の車形で車を撫で、
息を三度ふきかけて
罪・けがれを移して
ください。

人形・車形の作法

車の茅の輪くぐり のご案内

当社では全国でもめずらしい車の茅の輪くぐりを六月二十四日の日曜日に執り行います。直径六メートルにもおよぶ大きな茅の輪を車でくぐつていただき祓い清め、交通安全を祈願します。

どなたでもご参加いただけますので、是非お越しください。

《お祓料》◎一台 千円より



◎お問い合わせは社務所まで

電話 0296 (73) 0001 FAX 0296 (73) 0002

月詣り

当社には「月詣り」をされる崇敬篤い方が大勢いらっしゃいます。

月詣りとは、月毎に大神様の御加護をお受けになり、前月よりの平穏無事を感謝し、新たな御神徳を頂くことであります。月詣りの方には神苑に咲く花を表した御幣を授与しております。どの月からでも始めて頂けますので、ご希望の方は受付までお申し出下さい。



祈祷案内

当神社の御祭神は宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ)と申しまして、「ウカ」とは「貴い食物」を意味します。つまり宇迦之御魂神とは、「稻に宿る神秘的な精靈」を表し、五穀をはじめ一切の食物を司る神さま、生命の根源を掌る「いのち」の根の神さまです。

当神社では、宇迦之御魂

神様の御神徳をいただきまして、ご病気になられた方のご快癒を願う病気平癒の御祈願を行つております。皆様が健やかで平穏な毎日を送れますよう、心よりお祈り申し上げます。

(初穂料 五千円より)

当社ホームページからもご祈祷のご予約が頂けます。
◎ホームページ

<http://www.kasama.or.jp/>

御簾、胡床、装束、几帳等、
多種受け付けております。

奉納募集

当社では威儀物や祭典に用いられる祭具のご奉納をお受け致しております。ご奉納頂ける方は笠間稻荷神社社務所までご相談ください。ご奉納頂いた方の芳名は未永く顕彰させて頂きます。また、これまでにご奉納頂きましたご崇敬者の皆様に厚く御礼申し上げます。



笠間稻荷 美術館

笠 間稻荷神社の御本殿後方に、笠間稻荷美術館があります。

笠間稻荷美術館は、笠間焼をはじめ、信楽・常滑・瀬戸・越前・丹波・備前の中世の六古窯と呼ばれる主要な窯場の陶器等を常設展示しています。



今

日も関東地方に数少ない陶器の生産地として栄えるこの地で、窯業のさらなる発展と、地域社会の文化生活の向上に役立つことを目的に、昭和56年3月に開館しました。陶器の他に、常陸ゆかりの水墨画家・雪村、日本画家・木村武山の作品や、香道具等を収集・保存し、特別展等で展示公開することがございます。

ぜひ一度足をお運び下さい。

INFORMATION

開館時間 午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
年中無休 但し、展示入れ替え等当館が特に必要と認めた日は臨時休館日とする

入館料 一般300円 大高生200円 中小生100円
但し、特別展期間中の入館料は別に定める
20人以上団体割引あり（50円引き）

詳しくは笠間稻荷美術館までお問い合わせ下さい

TEL 0296(73)0001 笠間稻荷神社内



神社のいろは



Q 御祈祷のお願いごとにには、どのようなものがありますか？

A 初宮詣・七五三詣等の人生儀礼、厄除・方位除等の災難除け、五穀豊穣・商売繁榮等の業種繁榮、家内安全・交通安全等の安全祈願など、各種ございます。

Q どうすれば御祈祷をおこなえるのですか？

A 受付でお申し込みをしていただければ、どなたでも御祈祷を受けていただくことができます。御祈祷は、八時から十六時まで一時間ごとにおこなつております。

Q 拝殿は何をおこなうところですか？

A 拝殿は大神様の鎮まる御本殿の手前に位置し、拝礼をするためにあるものです。拝殿の手前にはお賽銭箱があり、略式参拝をおこなうことができます。また、拝殿の中では御祈祷をおこなうことができます。

その他、ご質問等ございましたら、神社社務所までお問い合わせ下さい。
笠間稻荷神社社務所 ☎ 0296(73)0001

社報「胡桃」No.41 平成30年4月発行

発行所／笠間稻荷神社社報編集委員会 茨城県笠間市笠間1番地

電話0296(73)0001㈹ FAX0296(73)0002 テレホンサービス0296(73)0003

ホームページhttp://www.kasama.or.jp/ Eメールinfo@kasama.or.jp

編集発行人／塙 東男 本誌の写真、イラストレーション、記事の無断転載を禁じます。

